

文献検索の基本ガイド

効率的な文献の探し方と選び方の基本マニュアル



目次

1. はじめに	2
2. 文献検索の重要性	2
3. 文献検索の基本ステップ	2
4. 主な文献データベースの紹介	3
5. 効果的な検索キーワードの選び方	4
6. 絞り込み検索のテクニック	5
7. 文献の質の評価方法	6
8. 文献管理の方法	7
9. 文献の読み方と要約の仕方	8
10. 参考資料・サイト	10
看護研究サポートからのメッセージ	10

1. はじめに

看護研究において、質の高い文献を効率的に検索し選択することは、研究の質を大きく左右する重要なスキルです。本ガイドでは、初めて文献検索に取り組む方から、より効率的な方法を探している経験者まで、誰もが活用できる基本的な文献検索の方法をご紹介します。

2. 文献検索の重要性

なぜ文献検索が重要なのか？

- **研究の位置づけを明確にする**: 先行研究を把握することで、自分の研究の新規性や重要性を示すことができます
- **研究方法の参考にする**: 類似の研究手法を学び、自分の研究設計に活かします
- **理論的枠組みを構築する**: 既存の知識体系を理解し、自分の研究を適切に位置づけられます
- **研究の質を高める**: 他の研究者の知見を活用し、研究の妥当性・信頼性を向上させられます

Point! 文献検索は研究の「土台作り」です。しっかりとした土台があつてこそ、質の高い研究が可能になります。

3. 文献検索の基本ステップ

3.1 研究テーマ・問いの明確化

まず、自分が何について調べたいのかを明確にします。

PICO 形式を活用すると効果的です:

- **P**: Patient/Population (対象者・集団)
- **I**: Intervention (介入)
- **C**: Comparison (比較対象)
- **O**: Outcome (結果・アウトカム)

3.2 検索キーワードの選定

研究テーマから重要なキーワードを抽出します。

- 同義語や関連語も考慮する
- 専門用語と一般的な用語の両方を準備する

3.3 適切なデータベースの選択

研究テーマに合ったデータベースを選びます。

3.4 検索の実行と記録

検索式や検索条件を記録しながら検索を実行します。

3.5 検索結果の評価と選別

見つかった文献をスクリーニングし、本当に必要な文献を選別します。

4. 主な文献データベースの紹介

4.1 看護・医療系データベース

医中誌 Web

- **特徴:** 日本国内の医学・看護学・歯学・薬学・獣医学などの文献情報
- **収録範囲:** 約 5,000 誌の学術雑誌(1983 年以降)
- **アクセス方法:** 多くの大学図書館や医療機関で契約しています

J-STAGE

- **特徴:** 日本の学協会の電子ジャーナルプラットフォーム
- **収録範囲:** 3,000 以上の学術ジャーナル
- **アクセス方法:** インターネットで無料公開(一部制限あり)

CINAHL (Cumulative Index to Nursing and Allied Health Literature)

- **特徴:** 看護学・関連医療分野に特化した英語文献データベース
- **収録範囲:** 約 5,500 誌の学術雑誌(1937 年以降)
- **アクセス方法:** 大学図書館などの契約が必要

PubMed/MEDLINE

- **特徴:** 医学・生命科学分野の世界最大級の文献データベース
- **収録範囲:** 約 5,200 誌の学術雑誌(1946 年以降)
- **アクセス方法:** インターネットで無料公開

4.2 学際的データベース

CiNii Articles

- **特徴:** 日本の学術論文情報を広く収集
- **収録範囲:** 日本の学術論文、学協会刊行物、大学研究紀要など
- **アクセス方法:** インターネットで基本検索は無料(全文へのアクセスは一部有料)

Google Scholar

- **特徴:** 幅広い学術情報を検索できる Web サービス
- **収録範囲:** 学術論文、書籍、学会抄録など
- **アクセス方法:** インターネットで無料公開

実践アドバイス! 一つのデータベースだけでなく、複数のデータベースを使って検索することで、より幅広い文献にアクセスできます。研究テーマに応じて、最適なデータベースを選びましょう。

5. 効果的な検索キーワードの選び方

5.1 キーワード選定の基本

1. **研究テーマの分解**
 - 研究テーマを構成要素に分解する
 - PICO 形式が役立つ
2. **同義語・類義語の準備**
 - 例:「高齢者」→「老人」「お年寄り」「シニア」など
 - 例:「糖尿病」→「DM」「diabetes mellitus」など
3. **表記ゆれの考慮**
 - 例:「ケア」と「ケアー」
 - 例:「がん」と「癌」
4. **専門用語と一般語の両方を準備**

- 例:「褥瘡」と「床ずれ」
- 例:「心筋梗塞」と「心臓発作」

5.2 英語キーワードのコツ

- MeSH (Medical Subject Headings) を活用する
- 英語の複数形も考慮(例:nurse と nurses)
- 米国式・英国式の綴りの違いに注意(例:center と centre)

5.3 キーワード選定の具体例

研究テーマ要素	日本語キーワード	英語キーワード
対象者	高齢者、老人、お年寄り	elderly, aged, older adults, senior
問題/疾患	転倒、転落、落下	fall, accidental fall
介入	予防、防止、リスク評価	prevention, risk assessment
場所/状況	病院、入院、入院患者	hospital, inpatient, hospitalization

6. 絞り込み検索のテクニック

6.1 論理演算子(ブール演算子)の使い方

- **AND 検索:** キーワード A とキーワード B の両方を含む文献を検索
 - 例:「高齢者 AND 転倒 AND 予防」
 - 結果: 検索結果は絞り込まれる
- **OR 検索:** キーワード A またはキーワード B のいずれかを含む文献を検索
 - 例:「高齢者 OR 老人 OR お年寄り」
 - 結果: 検索結果は広がる
- **NOT 検索:** キーワード A を含み、キーワード B を含まない文献を検索
 - 例:「転倒 NOT 小児」
 - 結果: 不要な文献を除外できる

6.2 絞り込み検索のための条件設定

- **出版年による絞り込み:** 最新の知見を得るため、過去 5 年以内などで絞り込む
- **文献タイプによる絞り込み:** 原著論文、総説、会議録など
- **言語による絞り込み:** 日本語、英語など
- **アクセス可能性:** 全文入手可能な文献のみ表示

6.3 フレーズ検索とワイルドカード

- **フレーズ検索**: 複数の単語を一つのフレーズとして検索
 - 例: 「pressure ulcer prevention」(引用符で囲む)
- **ワイルドカード**: 単語の一部を記号で置き換えて検索
 - 例: 「nurs*」→ nurse, nurses, nursing など
 - データベースによって使用記号が異なるので注意

6.4 検索式の例

(高齢者 OR 老人 OR お年寄り) AND (転倒 OR 転落) AND (予防 OR 防止) AND (病院 OR 入院) NOT 在宅

実践のコツ! 最初は広めに検索し、徐々に条件を追加して絞り込むアプローチが効果的です。検索結果が多すぎる場合は条件を追加し、少なすぎる場合は条件を緩めましょう。

7. 文献の質の評価方法

7.1 文献評価の基本視点

1. **信頼性 (Reliability)**
 - 研究結果は信頼できるか
 - 適切な研究方法が用いられているか
2. **妥当性 (Validity)**
 - 研究デザインは研究目的に合っているか
 - 結論は根拠に基づいているか
3. **一般化可能性 (Generalizability)**
 - 研究結果は他の集団にも適用できるか

7.2 文献の種類による評価ポイント

量的研究(例: 実験研究、調査研究)の評価

- サンプルサイズは適切か
- 統計分析は正しく行われているか
- 研究デザインは研究目的に適しているか

質的研究(例: インタビュー、観察研究)の評価

- データ収集方法は適切か
- 分析過程は明確に記述されているか
- 研究参加者の選定は適切か

7.3 エビデンスレベルの理解

エビデンスのピラミッド(上に行くほど質が高い):

1. メタアナリシス・システマティックレビュー
2. ランダム化比較試験(RCT)
3. コホート研究
4. ケースコントロール研究
5. 症例報告
6. 専門家の意見

7.4 文献評価のチェックリスト

評価項目	チェックポイント
著者・掲載誌	著者の専門性は？査読付き雑誌か？
研究目的	明確に述べられているか？
研究方法	目的に合った方法が用いられているか？
対象者	選定基準は明確か？サンプルサイズは適切か？
結果	データは適切に分析・提示されているか？
考察	結果に基づいて論理的に考察されているか？
結論	研究目的に対応した結論が述べられているか？

Critical Reading(批判的読解)のすすめ 文献を読む際は「書かれていること」をただ受け入れるのではなく、「なぜそう言えるのか」「どのような限界があるか」を常に考える習慣をつけましょう。

8. 文献管理の方法

8.1 文献情報の記録

必ず記録すべき情報:

- 著者名(全著者)

- 論文タイトル
- 雑誌名・巻号・ページ
- 発行年
- DOI(Digital Object Identifier)
- 検索日・検索データベース

8.2 文献管理ツールの活用

文献管理ソフト

- **EndNote**: 多機能で学術機関でよく使用される
- **Mendeley**: 無料で使いやすく、PDF の管理も可能
- **RefWorks**: Web ベースで場所を選ばず利用可能

シンプルな管理方法

- Excel での管理
- Google スプレッドシートでの管理
- Evernote などのノートアプリの活用

8.3 文献管理の実践的なコツ

- 検索式と検索結果は必ず記録する
- 読んだ文献の要約を作成する
- 文献同士の関連性をメモする
- フォルダ分けなどで整理する

文献管理の時短テクニック CiNii や PubMed などのデータベースから文献情報をエクスポートし、文献管理ソフトにインポートすることで、手入力の手間を省けます。

9. 文献の読み方と要約の仕方

9.1 効率的な文献の読み方

スキミング(概観)のステップ

1. タイトル・抄録を読む
2. 見出しに目を通す
3. 図表をチェックする

4. はじめと終わりの段落に注目する

精読のポイント

- 研究目的と方法に注目
- 主要な結果を把握
- 研究の限界を確認
- 自分の研究との関連性を考える

9.2 文献要約(抄録)の作成方法

IMRAD 形式での要約

- Introduction(背景・目的)
- Methods(方法)
- Results(結果)
- And
- Discussion(考察・結論)

要約作成のコツ

- 原著の表現をそのまま使わず、自分の言葉で要約する
- 重要なポイントに焦点を当てる
- 批判的視点を含める
- 自分の研究との関連性を記録する

9.3 文献要約の例

原著論文:「病院内における高齢患者の転倒予防プログラムの効果:準実験的研究」

要約例:

この研究は、総合病院の内科病棟における高齢患者を対象とした多角的転倒予防プログラムの効果を検証することを目的としている。65 歳以上の入院患者 120 名(介入群 60 名、対照群 60 名)を対象に、3 ヶ月間の準実験的研究を実施。介入群には環境調整、運動プログラム、薬剤調整、スタッフ教育を含む包括的プログラムを実施した。結果、介入群の転倒発生率は対照群と比較して 43%減少($p<0.01$)。特に複数の転倒リスク要因を持つ患者で効果が大きかった。この研究は非ランダム化デザインという限界はあるが、多角的アプローチが高齢入院患者の転倒予防に効果的である可能性を示唆している。

10. 参考資料・サイト

10.1 おすすめの文献検索ガイド

- 『看護研究のための文献検索ガイド』（日本看護協会出版会）
- 『看護研究のための文献レビュー』（医学書院）

10.2 データベースアクセス先

- [医中誌 Web](#)
- [J-STAGE](#)
- [CiNii Articles](#)
- [PubMed](#)
- [Google Scholar](#)

10.3 文献管理ツール

- [Mendeley](#)
- [EndNote](#)
- [RefWorks](#)

看護研究サポートからのメッセージ

文献検索は看護研究の成功において非常に重要なプロセスです。しかし、時間や専門知識の不足により、多くの看護師の方々が困難を感じています。

私たちの看護研究サポートでは、あなたの研究テーマに合わせた文献検索から、論文作成、発表準備まで、トータルでサポートしています。

研究に関するお悩みがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。

LINE: <https://lin.ee/RipLtXH>

Email: nursing.career777@gmail.com